

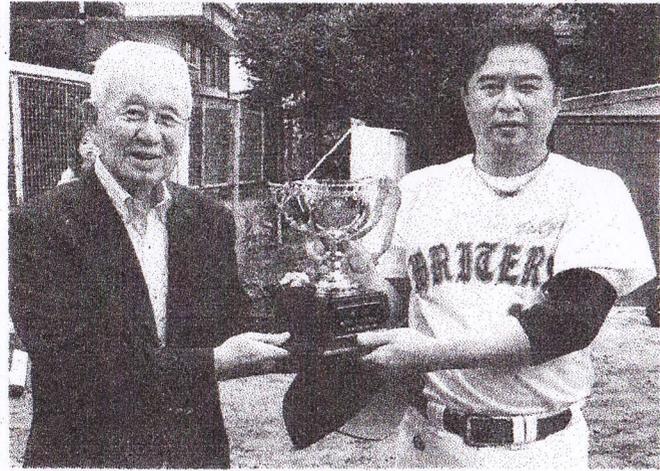
東京芸能人の  
野球リーグ戦

東京中日スポーツ杯争奪  
協賛S A I T システム

3季ぶり21度目  
ライタース優勝

中日杯を懸けて行われていた第51回東京芸能人春季野球リーグ戦(東京芸能人野球連盟主催、東京中日スポーツ後援)が14日閉幕し、俳優の森山周一郎さん(76)が総監督を務める東京ライタースがゼッツを8-3で下し、3季ぶり21度目の優勝を決めた。

両チームが優勝をかけて激突した最終戦はライタースが2回に先制。今大会、終盤での逆転勝ちが多く打線好調のゼッツは、5回にライタースのエースで元オリックス



(14日・神宮外苑軟式野球場)

ライタース 013004  
ゼッツ 001020  
(6回時間切れコールド) 38

(ラ) 庄司、串田、伊藤

(ゼ) 草苅、三代

(本塁打) 島田①(ラ)、

俳協タックス

0001000  
1340230  
131

マンボウ

(俳) 佐藤、若林

(マ) 目崎、蓮本、蓮本、目崎

BBCすぎずき

5201011  
0001000  
110

演劇集団円

(す) 鈴木、加藤

(円) 小松、山崎英、黒瀧

(本塁打) 蘇我部①(す)

の庄司投手をとらえ、1点差まで迫ったが、ライタースは最終回到島田が右中間に2点本塁打を放つなど4点を追加し突き放した。最優秀選手(森繁杯)にはライタースの河野聖選手が選ばれた。

◆春季大会最終結果◆

順位	チーム	勝	分	敗
優勝	東京ライタース	5	-	0
準優勝	マンボウ	3	1	1
3位	球団ゼッツ	3	-	2
4位	BBCすぎずき	2	-	3
5位	演劇集団円	1	1	3
6位	俳協タックス	0	-	5

最優秀選手(森繁杯) 河野聖(ラ)

森山連盟会長(左)から中日杯を受けとるライタース河野昭監督(右) 神宮外苑軟式野球場で